みんぱくリポジトリ
国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnolo

Bulletin of the National Museum of Ethnology Vol. 10No. 2; Cover, Contents,and others

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-02-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/00009229

1985——10巻2号

国立民族学博物館研究報告

ミンドロ島ハヌノオ・マンヤン族の‘裁判人’————宮本　勝
下エジプトのムスリムにおける結婚の成立過程
——カリュービーヤ県ベンハー市とその周辺農村の事例を中心に————大塚和夫
アンデス東斜面溪谷部，ケチュア農民の生業と交易活動————細川弘明
国立民族学博物館所蔵の韓国の収納家具
——その技術とデザイン————車　政弘
熊祭の歴史民族学的研究
——学史的展望————大林太良
クマ祭に集まる人々
——狩猟儀礼に表出するエヴェンキ族の社会構成原理について————佐々木史郎
"Pollution", "Purity" and "Sacred":
The Ideological Configuration of Hindu Society————SEKINE, Yasumasa

国立民族学博物館　〒565　大阪府吹田市千里　万博公園　TEL. 06-876-2151

国立民族学博物館研究報告

10 巻 2 号　　1985年

目　次

ミンドロ島ハヌノオ・マンヤン族の'裁判人'……宮本　勝…… 243

下エジプトのムスリムにおける結婚の成立過程
——カリュービーヤ県ベンハー市とその周辺農村の事例を中心に——　……大塚和夫…… 273

アンデス東斜面渓谷部，ケチュア農民の生業と交易活動……細川弘明…… 309

国立民族学博物館所蔵の韓国の収納家具
——その技術とデザイン——　……車　政弘…… 365

熊祭の歴史民族学的研究
——学史的展望——……大林太良…… 427

クマ祭に集まる人々
——狩猟儀礼に表出するエヴェンキ族の社会構成原理について——　……佐々木史郎…… 451

"Pollution", "Purity" and "Sacred":
The Ideological Configuration of Hindu Society …SEKINE, Yasumasa…… 481

彙　報…… 543

国立民族学博物館研究報告寄稿要項…… 548

国立民族学博物館研究報告執筆要領…… 549

BULLETIN OF THE NATIONAL MUSEUM OF ETHNOLOGY

Vol. 10 No. 2 **1985**

MIYAMOTO, Masaru — Judges among the Hanunoo-Mangyan of Mindoro Island 243

OHTSUKA, Kazuo — Marriage Process among the Muslims of Lower Egypt 273

HOSOKAWA, Koomei — Subsistence and Trade Activities of Quechua Peasants in the Upper-Valley Slope of the Eastern Central Andes 309

KURUMA, Masahiro — The Design and Construction Technique of Korean Chests, Boxes and Shelves in the National Museum of Ethnology 365

OBAYASHI, Taryo — The Historical Ethnology of Bear Ceremonialism: A Review of Studies since 1926 427

SASAKI, Shiro — The People Gathering to the Bear Festival: The Social Principles of the Evenks Reflected in Hunting Rituals 451

SEKINE, Yasumasa — "Pollution", "Purity" and "Sacred": The Ideological Configuration of Hindu Society 481

彙　報

（昭和60年4月～昭和60年6月）

人事異動

（行政職）　　（昇　任）

4月1日　管理部企画課長　池田　義春
（文化庁文化財保護部記念物課庶務係長）
北九州工業高等専門学校会計課長　本田　信一
（管理部会計課課長補佐）
管理部会計課課長補佐　藤木　信雄
（大阪大学経理部経理課共済組合掛長）
（配置換）
奈良国立博物館管理課長　徳岡　昇
（管理部企画課長）
大阪大学経理部主計課課長補佐　辻　仁
（管理部会計課課長補佐）

（教育職）

4月1日　（名誉教授称号授与）　岩田　慶治
（配置換）
第五研究部教授　杉本　尚次
第五研究部長
（第四研究部教授）
（採　用）
第一研究部助手　佐々木史郎
（併　任）

6月1日　第五研究部助教授　嶋　陸奥彦
（広島大学助教授）
（昇　任）

6月16日　第二研究部助教授　園田　英弘
（京都大学助手）

評議員

氏名	任期
伊地智善継	(59. 9.15～61. 9.14)
市古　貞次	(59. 9.15～61. 9.14)
岡本　道雄	(59. 9.15～61. 9.14)
木田　宏	(59. 9.15～61. 9.14)
北村　甫	(59. 9.15～61. 9.14)
窪　徳忠	(59. 9.15～61. 9.14)
久山　康	(59. 9.15～61. 9.14)
沢田　敏男	(59. 9.15～61. 9.14)
鈴木　尚	(59. 9.15～61. 9.14)
土田　直鎮	(59. 9.15～61. 9.14)
直江　広治	(59. 9.15～61. 9.14)
中尾　佐助	(59. 9.15～61. 9.14)
林屋辰三郎	(59. 9.15～61. 9.14)
向坊　隆	(59. 9.15～61. 9.14)
村山　松雄	(59. 9.15～61. 9.14)
山田　信夫	(59. 9.15～61. 9.14)
山村　雄一	(59. 9.15～61. 9.14)
山本　達郎	(59. 9.15～61. 9.14)

運営協議員

氏名	任期
綾部　恒雄	(59. 9.15～61. 9.14)
石井　米雄	(59. 5.16～61. 5.15)
石川　榮吉	(59. 9.15～61. 9.14)
伊藤　清司	(59. 9.15～61. 9.14)
祖父江孝男	(59. 5.16～61. 5.15)
富川　盛道	(59. 9.15～61. 9.14)
中根　千枝	(59. 9.15～61. 9.14)
藤岡　喜愛	(59. 9.15～61. 9.14)
増田　昭三	(60. 2. 1～62. 1.31)
山田　隆治	(59. 9.15～61. 9.14)
米山　俊直	(59. 9.15～61. 9.14)
伊藤　幹治	(59. 9.15～61. 9.14)
大給　近達	(59. 9.15～61. 9.14)
加藤　九祚	(60. 4. 1～62. 3.31)
中村俊亀智	(59. 9.15～61. 9.14)
君島　久子	(60. 4. 1～62. 3.31)
佐々木高明	(59. 9.15～61. 9.14)
杉本　尚次	(60. 4. 1～62. 3.31)
竹村　卓二	(60. 4. 1～62. 3.31)
藤井　知昭	(60. 4. 1～61. 9.14)
和田　祐一	(59. 9.15～61. 9.14)

企画委員

氏名	任期
粟津　潔	(60. 4. 1～62. 3. 31)
五十嵐道子	(60. 4. 1～62. 3. 31)
大貫　良夫	(60. 4. 1～62. 3. 31)
勝井　三雄	(60. 4. 1～62. 3. 31)
加藤　秀俊	(60. 4. 1～62. 3. 31)
川添　登	(60. 4. 1～62. 3. 31)
黒川　紀章	(60. 4. 1～62. 3. 31)
後藤　和彦	(60. 4. 1～62. 3. 31)
小松　左京	(60. 4. 1～62. 3. 31)
高田　宏	(60. 4. 1～62. 3. 31)
田邊　員人	(60. 4. 1～62. 3. 31)
多比良　稔	(60. 4. 1～62. 3. 31)
中山　和彦	(60. 4. 1～62. 3. 31)
野瀬　通雄	(60. 4. 1～62. 3. 31)
米山　俊直	(60. 4. 1～62. 3. 31)
大林　太良	(60. 4. 1～62. 3. 31)
谷　泰	(60. 4. 1～62. 3. 31)

電子計算機運営委員

氏名	任期
乃川　昭文	(60. 4. 1～62. 3. 31)
大林　太良	(60. 4. 1～62. 3. 31)
国井　利泰	(60. 4. 1～62. 3. 31)
田中　琢	(60. 4. 1～62. 3. 31)
辻　三郎	(60. 4. 1～62. 3. 31)
長尾　眞	(60. 4. 1～62. 3. 31)
中野　照海	(60. 4. 1～62. 3. 31)
中山　和彦	(60. 4. 1～62. 3. 31)
西之園晴夫	(60. 4. 1～62. 3. 31)
八村廣三郎	(60. 4 1～62. 3 31)
星　仰	(60. 4. 1～62. 3. 31)
山中　光一	(60. 4. 1～62. 3. 31)
吉田　将	(60. 4. 1～62. 3. 31)
佐々木高明	(60. 4. 1～62. 3. 31)
中村俊亀智	(60. 4. 1～62. 3. 31)
大給　近達	(60. 4. 1～62. 3. 31)
藤井　知昭	(60. 4. 1～62. 3. 31)
栗田　靖之	(60. 4. 1～62. 3. 31)
小山　修三	(60. 4. 1～62. 3. 31)
杉田　繁治	(60. 4. 1～62. 3. 31)
秦　明夫	(60. 4. 1～62. 3. 31)

国内資料調査委員

氏名	任期
石塚　尊俊	(60. 4. 1～62. 3. 31)
泉　房子	(60. 4. 1～62. 3. 31)
犬塚　幹士	(60. 4. 1～62. 3. 31)
今村　充夫	(60. 4. 1～62. 3. 31)
岩井　宏實	(60. 4. 1～62. 3. 31)
上江洲　均	(60. 4. 1～62. 3. 31)
勝部　正郊	(60. 4. 1～62. 3. 31)
神野　善治	(60. 4. 1～62. 3. 31)
萱野　茂	(60. 4 1～62. 3. 31)
神崎　宣武	(60. 4. 1～62. 3. 31)
木崎　和廣	(60. 4. 1～62. 3. 31)
岸田　定雄	(60. 4. 1～62. 3. 31)
喜多　慶治	(60. 4. 1～62. 3. 31)
倉田　亨	(60. 4. 1～62. 3. 31)
小谷　方明	(60. 4. 1～62. 3. 31)
坂本　正夫	(60. 4. 1～62. 3. 31)
佐野　賢治	(60. 4. 1～62. 3. 31)
澤　四郎	(60. 4. 1～62. 3. 31)
下野　敏見	(60. 4. 1～62. 3. 31)
鈴木　尚夫	(60. 4. 1～62. 3. 31)
高橋　克夫	(60. 4. 1～62. 3. 31)
立平　進	(60. 4. 1～62. 3. 31)
田中忠三郎	(60. 4. 1～62. 3. 31)
鶴藤　鹿忠	(60. 4. 1～62. 3. 31)
都丸十九一	(60. 4. 1～62. 3. 31)
長倉　三朗	(60. 4. 1～62. 3. 31)
西村　綏子	(60. 4. 1～62. 3. 31)
野口　光敏	(60. 4. 1～62. 3. 31)
橋本　鉄男	(60. 4. 1～62. 3. 31)
林　道明	(60. 4. 1～62. 3. 31)
福田　栄治	(60. 4. 1～62. 3. 31)
藤本　英夫	(60. 4. 1～62. 3. 31)
松下　亘	(60. 4. 1～62. 3. 31)
山口　賢俊	(60. 4. 1～62. 3. 31)
山路　興造	(60. 4. 1～62. 3. 31)
和田　正洲	(60. 4. 1～62. 3. 31)

館内各種委員会（4月1日付）

○標本資料委員会委員

伊藤　幹治　　佐々木高明　　中村俊亀智
大塚　和義　　松山　利夫　　森田　恒之
大森　康宏　　秋道　智彌　　石森　秀三
板垣　義信　　岡田　精志　　佐藤　嗣
柴田　正美

○映像・音響資料委員会委員

杉本　尚次　　君島　久子　　佐々木高明
藤井　知昭　　大給　近達　　大森　康宏
櫻井　哲男　　山本　泰則　　板垣　義信
岡田　精志　　佐藤　嗣　　柴田　正美

○図書委員会委員

杉本　尚次　　佐々木高明　　片倉　素子
守屋　　毅　　福井　勝義　　藤井　龍彦
大丸　　弘　　宮本　　勝　　吉本　　忍
板垣　義信　　佐藤　嗣

○国内資料調査委員会委員

佐々木高明　　杉本　尚次　　中村俊亀智
大塚　和義　　松山　利夫　　守屋　　毅
大丸　　弘　　中牧　弘允　　秋道　智彌
櫻井　哲男　　板垣　義信　　佐藤　嗣
柴田　正美

○情報システム委員会委員

佐々木高明　　栗田　靖之　　松澤　員子
江口　一久　　石毛　直道　　小山　修三
杉田　繁治　　中牧　弘允　　久保　正敏
福川　圭子　　山本　泰則　　板垣　義信
岡田　精志　　佐藤　嗣　　柴田　正美

○情報化委員会委員

竹村　卓二　　佐々木高明　　大給　近達
小谷　凱宣　　栗田　靖之　　松澤　員子
端　　信行　　藤井　龍彦　　杉田　繁治
長野　泰彦　　庄司　博史　　久保　正敏
板垣　義信　　岡田　精志　　佐藤　嗣
柴田　正美

○展示委員会委員

伊藤　幹治　　中村俊亀智　　大塚　和義
松原　正毅　　小川　　了　　端　　信行
黒田　悦子　　友枝　啓泰　　森田　恒之
重松真由美　　吉本　　忍　　庄司　博史
佐々木史郎　　秦　　明夫　　岡田　精志
佐藤　　嗣　　柴田　正美

○出版委員会委員

竹村　卓二　　君島　久子　　周　　達生
杉村　　棟　　和田　正平　　崎山　　理
垂水　　稔　　ケネス・ラドル　　中山　和芳
永ノ尾信悟　　大塚　和夫　　須藤　健一
八杉　佳穂　　池田　義春

○広報・事業委員会委員

加藤　九祚　　和田　祐一　　松山　利夫
田邊　繁治　　吉田　集而　　小川　　了
石毛　直道　　小山　修三　　杉田　繁治
垂水　　稔　　中牧　弘允　　秋道　智彌
泉　　幽香　　秦　　明夫　　磯村　　紘
板垣　義信　　池田　義春　　岡田　精志
柴田　正美

○環境保全委員会委員

佐々木高明　　竹村　卓二　　伊藤　幹治
大給　近達　　加藤　九祚　　杉本　尚次
吉田　集而　　石毛　直道　　秦　　明夫
礒村　　紘　　板垣　義信　　和田　　満
池田　義春　　岡田　精志　　佐藤　　嗣
柴田　正美

○防災対策委員会委員

竹村　卓二　　佐々木高明　　伊藤　幹治
加藤　九祚　　杉本　尚次　　秦　　明夫
磯村　　紘　　板垣　義信　　和田　　満
池田　義春　　岡田　精志　　佐藤　　嗣
柴田　正美

○大学院委員会委員

佐々木高明　　竹村　卓二　　伊藤　幹治
加藤　九祚　　杉本　尚次　　和田　祐一
片倉　素子　　秦　　明夫

○施設整備委員会委員

佐々木高明　　藤井　知昭　　中村俊亀智
江口　一久　　黒田　悦子　　長野　泰彦
秦　　明夫　　板垣　義信　　和田　　満
岡田　精志　　佐藤　　嗣

海外における研究・調査・収集活動

氏名	官職	出発	帰国	行先
山本　紀夫	助教授（第四研究部）	60. 4. 1	61. 4. 1	ペルー，ボリビア，チリ，エクアドル
石毛　直道	助教授（第四研究部）	60. 4. 2	60. 4. 8	ベラウ共和国
松澤　員子	助教授（第二研究部）	60. 4. 3	60. 5. 1	アメリカ合衆国
大森　康宏	助教授（第三研究部）	60. 4.12	60. 5. 4	イタリア，フランス
藤井　知昭	教　授（第二研究部）	60. 4.22	60. 5.22	中華人民共和国，マレーシア，バングラデシュ，インド，トルコ
梅棹　忠夫	館　長	60. 5.11	60. 5.18	フランス
大塚　和義	助教授（第一研究部）	60. 5.20	60. 5.26	ソ連
田邊　繁治	助教授（第二研究部）	60. 5.20	61. 5.19	タイ
秋道　智彌	助　手（第二研究部）	60. 5.24	60. 6.23	ケニア共和国，マダガスカル民主共和国
加藤　九祚	教　授（第四研究部）	60. 6. 4	60. 6.22	ソ連
江口　一久	助教授（第三研究部）	60. 6.10	60. 6.27	中華人民共和国
小谷　凱宣	助教授（第一研究部）	60. 6.15	60. 8.17	アメリカ合衆国
杉田　繁治	助教授（第五研究部）	60. 6.19	60. 7. 6	アメリカ合衆国，カナダ
片倉　素子	教　授（第三研究部）	60. 6.20	61. 2.28	カナダ
友枝　啓泰	助教授（第四研究部）	60. 6.22	60.10.18	ボリビア，ペルー，アルゼンチン
庄司　博史	助　手（第三研究部）	60. 6.23	60. 8.23	フィンランド，ソ連
杉村　棟	助教授（第二研究部）	60. 6.24	60. 7. 7	トルコ
周　達生	助教授（第一研究部）	60. 6.28	60. 7.24	中華人民共和国

来館者抄

4月2日　Narman G. Curry 夫妻（オーストラリア，ヴィクトリア州教育省次官）

4月14日　中国江蘇省僑務弁公室訪日参観団
- 団長　藍　万　隆（江蘇省僑務弁公室副主任）
- 団員　毛　以　智（江蘇省僑務弁公室処長）
- 許　　堅（江蘇省僑務弁公室科長）
- 范　存　浩（江蘇省僑務弁公室科長）

4月17日　上山　春平（京都国立博物館長）

4月21日　金　連　紘（中部大学助教授）

4月23日　Daniel Pipes 夫妻（アメリカ合衆国，ネイバァル・ウォー・カレッジ助教授）

4月25日　Marshall Sahlins 夫妻（アメリカ合衆国，シカゴ大学人類学部教授）

4月26日　George DeVos 夫妻（アメリカ合衆国，カリフォルニア大学バークレー校人類学部教授）

5月7日　Stanley Wijesundera（スリランカ，コロンボ大学副学長）

5月9日　胡　華　副（中国，中央民族学院教授）

5月14日　劉　士　廉（中国，中国首都医

科大学学長）
李　　橋（中国，中国首都医科大学事務局長）
張　　炳（中国，中国首都医科大学基礎医学教育主任）

5月17日　王　仁　波（中国，陝西省博物館長）

5月23日　Jacques RUFFIE（フランス，コレージュ・ド・フランス教授）
François RAVEAU（フランス，パリ大学医学部教授）

5月24日　中国文化部文化科技参観考察団
団長　仲　秋　元（科技委員会副主任）
副団長　包　同　之（電影局副局長）
秘書　呉　熙　華（外連局亜洲処副処長）
団員　杜　　克(弁公庁主任)
呉　　光（科技弁公室主任）
林　儒　忠（科技弁公室科長）
沈　志　成（科技弁公室科長）
劉　東　江（計財司計画処長）
高　春　林（音楽家協会幹部）
王　　林(弁公庁秘書)

5月25日　中国浙江日報社訪日代表団
団長　鄭　夢　熊（総編集）
秘書長　伝　通　先（編集委員，文教部主任）
団員　孟　玉　発(政法部主任)
谷　雲　氷（責任編集）
戈　学　清（工交財貿部副主任）

5月27日　J. J. McGOVERN（英国文化センター館長）
中国山東大学学術交流代表団
団長　鄧　従　豪（校長，化学教授）
団員　陳　之　安（副校長）
孟　爾　熹（系副主任）
盧　宗　功（外事弁公室副主任）
鄭　甘　澍（助手）

6月3日　鳥　丙　安（中国，遼寧大学教授）
櫻井　龍彦（龍谷大学講師）

6月4日　John M. LOMORO（カナダ，カナダ国立博物館ニュー・テクニカル・アドバイザー）

6月11日　Stefan Ivanov PRODEV（ブルガリア人民共和国，文化機関紙『人民文化』編集長）

6月14日　石井　威望，齊藤斗志二（臨時教育審議会）

6月17日　フランス文化省使節団
Marie-Agnès BERNARDIS（プレスクラブ記者）
Marie-Simone DETOEUF（国立科学研究所担当官）
Bernard JEANNOT（文化省文化振興局文化科学技術産業ミッション部長）
Denis RAISON（国際コミュニケーションシンポジウム企画部長）
Michel ROMAND MONNIER（文化省コミュニケーション新テクノロジー担当官）
Regis SIRVENT（写真家）
Akemi MICAUD（通訳）

6月21日　姜　杓　遠（韓国，江原日報社長）
金　商　俊（韓国，江原道教育監）

6月27日　フィリピン女性記者団
Maria CABAERA（THE FREEMAN 新聞記者）
Laticia SUBANG（BUSINESS DAY 新聞記者）
Teresa NIEVA（DISPATCH 週刊誌記者）

国立民族学博物館研究報告寄稿要項

1. 国立民族学博物館研究報告は，民族学（文化人類学）に関する論文，資料・研究ノート，調査研究活動報告等を掲載・発表することにより，民族学（文化人類学）の発展に寄与するものである。
2. 国立民族学博物館研究報告に寄稿することができる者は，次のとおりとする。
   (1) 国立民族学博物館（以下「本館」という。）の教官（客員教授等を含む。）及び本館の組織，運営に関与する者
   (2) 本館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
   (3) その他本館において適当と認めた者
3. 原稿を寄稿する場合は，論文，資料・研究ノート，調査研究活動報告等のうち，いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお，この区分についての最終的な調整は，国立民族学博物館研究報告編集委員会（以下「編集委員会」という。）において行う。（編集する場合は，原則として論文及び資料・研究ノートを1段組，その他のものを2段組として取り扱う。）
4. 原稿執筆における使用言語は，日本語，英語，フランス語，スペイン語，ロシア語，中国語及びドイツ語のうちいずれを用いても差し支えない。ただし，その他の言語を用いる場合は，編集委員会に相談するものとする。
5. 特殊な文字，記号，印刷方法等が必要な場合は，編集委員会に相談するものとする。
6. 寄稿する原稿が論文で，日本語を使用する場合は，原則として英文により500語程度の要旨を付けるものとし，その他の言語による論文の場合は，編集委員会に相談するものとする。なお，寄稿する原稿については，執筆者名のローマ字表記及び原稿表題の英文を付記しなければならない。
7. 寄稿する原稿の枚数は，原則として制限しない。ただし，編集する場合は編集委員会の判断により，紙数等の関係から分割して掲載することがある。
8. 寄稿する原稿は，必ず清書（欧文の場合はタイプ）し，原稿の写し1部を添付するものとする。なお，図，表のスミ入れ，レタリングは，編集委員会で処理する。
9. 寄稿された原稿は，審査委員会において審査のうえ，採否を決定する。なお，原稿は，採否にかかわらず原則として返却しない。
10. 稿料の支払い，掲載料の徴収は行わない。
11. 原稿の執筆に当っては，別に定める「国立民族学博物館研究報告執筆要領」による。
12. 原稿の寄稿先及び連絡先は，次のとおりとする。

〒565　大阪府吹田市千里　万博公園10-1
国立民族学博物館内
国立民族学博物館研究報告編集委員会（電話 代表 06-876-2151）

国立民族学博物館研究報告執筆要領

1. 原稿は，200字詰原稿用紙を使用し，横書きとする。
2. 原稿は，図，表を除き，原則として黒インクを使用する。
3. 日本語を使用して執筆する場合は，原則として当用漢字，現代かなづかいを用いる。
4. 句読点，括弧，各種記号等は，原則として原稿用紙のマス目1字分の扱いをする。
5. 原稿中の年号，月日及びその他の数字は，原則としてアラビア数字を用いる。なお，年号は，原則として西暦とする。
6. 図及び表は，一図，一表ごとに別紙に書き，本文とは別に一括して添付するものとする。なお，図，表ごとに通し番号（「図1」，「表1」等の要領により記入），図，表名及び説明並びに出典等を記し，本文原稿の欄外には，それぞれのそう入箇所を指定するものとする。
7. 写真は，写りの明瞭なもので，手札判以上の大きさに焼き付けたものに限り，図及び表の扱いに準じて通し番号，説明を付けたうえ，そう入箇所を指定するものとする。ただし，カラー写真は，原則として受け付けない。
8. 本文又は脚注において文献を指示する場合は，カギ括弧を付け，著者名，文献刊行年次，引用ページ数の順に下記の例に従って記載する。

   [柳田 1942: 67–69]

   [Leach 1961: 123]

   [柳田 1942: 67–69, 1944: 20–22; Leach 1961: 123]

   ただし，同年次刊行物の場合は，アルファベット順により，下記のように記載するものとする。

   [柳田 1942a: 20–22] [柳田 1942b: 10]
9. 脚注は，一つ一つ別紙に記し，通し番号を付ける。なお，本文中に脚注をそう入する箇所には，脚注の当該番号を記入し，別紙の脚注には，本文のページ数を明記するものとする。
10. 本文及び脚注において参照した文献は，すべて原稿の末尾にまとめて下記の方法により記入する。

(1) 文献の配列は，著者名のアルファベット順とすること。

(2) 文献の記載は，著者名，年号，論題（タイトル），誌名，巻，号，出版社名の順とすること。欧文の雑誌名及び単行本名は，イタリック体にするため，原稿には下線を引くこと。また，ローマ字人名は，スモール・キャピタルとするため，二重下線を引き，日本文の場合は，論題にカギ括弧，雑誌名及び単行本名に二重のカギ括弧を付けること。雑誌の巻数及び号数は，原則としてアラビア数字を用いること。

(例)

論文の場合 (1)

石田英一郎

1948 「文化史的民族学成立の基本問題」『民族学研究』 13(4): 311–330。

Bohannan, P.

1973 Rethinking Culture: A Project for Current Anthropologist. Current Anthropology 14(4): 357–372.

論文の場合 (2)

杉浦 健一

1942 「民間信仰の話」 柳田国男編『日本民俗学研究』 岩波書店，pp. 117–143。

Leach, Edmund

1964 Anthropological Aspects of Language: Animal Categories and Verbal Abuse. In Eric H. Lennenberg (ed.), New Directions in the Study of Language, The M. I. T. Press, pp. 23–63.

単行本の場合

泉　靖一

1966『文明をもった生物』日本放送出版協会。

Murdock, George P. (ed.)

1960 Social Structure in Southeast Asia. Viking Fund Publications in Anthropology No. 29, Wenner-Gren Foundation for Anthropological Research, Inc.

翻訳書の場合

エリアーデ, M.

1974『シャーマニズム――古代的エクスタシー技術――』堀　一郎訳　冬樹社。

van Gennep, Arnold

1960 The Rites of Passage. M. B. Vizedom and G. L. Caffee, trans., The University of Chicago Press.

国立民族学博物館研究報告　10巻2号

〔監　　修〕
梅　棹　忠　夫
〔編集委員長〕
竹　村　卓　二
〔編集委員〕
永ノ尾　信　悟
大　塚　和　夫
君　島　久　子
ケネス・ラドル
崎　山　　理
周　　達　生
杉　村　　棟
須　藤　健　一
垂　水　　稔
中　山　和　芳
八　杉　佳　穂
和　田　正　平

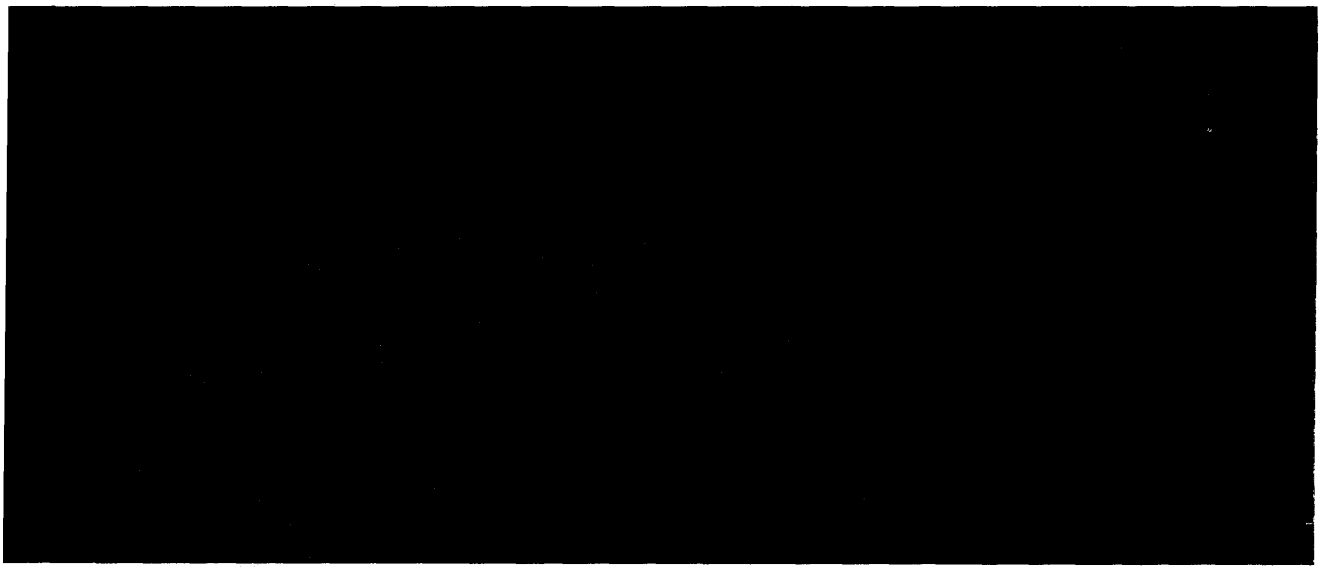
昭和60年10月22日　発行　非売品

国立民族学博物館研究報告　10巻2号

編集・発行　国立民族学博物館
〒565 吹田市千里万博公園10-1
TEL 06 (876) 2151 (代表)

印　　刷　中西印刷株式会社
〒602 京都市上京区下立売通小川東入
TEL 075 (441) 3155 (代表)

Bulletin of the National Museum of Ethnology
vol.10 no.2
1985



MIYAMOTO, Masaru	Judges among the Hanunoo-Mangyan of Mindoro Island
OHTSUKA, Kazuo	Marriage Process among the Muslims of Lower Egypt
HOSOKAWA, Koomei	Subsistence and Trade Activities of Quechua Peasants in the Upper-Valley Slope of the Eastern Central Andes
KURUMA, Masahiro	The Design and Construction Technique of Korean Chests, Boxes and Shelves in the National Museum of Ethnology
OBAYASHI, Taryo	The Historical Ethnology of Bear Ceremonialism: A Review of Studies since 1926
SASAKI, Shiro	The People Gathering to the Bear Festival: The Social Principles of the Evenks Reflected in Hunting Rituals
SEKINE, Yasumasa	"Pollution", "Purity" and "Sacred": The Ideological Configuration of Hindu Society

ISSN 0385-180X

National Museum of Ethnology

Senri Expo Park, Suita, Osaka, Japan
phone 06-876-2151